

## 初詣は地元の由緒ある本社へ 六所神社が呼びかけ

昨年からは、大晦日に夕方からライトアップし、初詣は地元でと呼びかけた六所神社では、好評だったので、今年は昨年（50人ほど）を上回る初詣をと呼びかけています。

ナンは境内から収穫したもの、和名川の高橋一郎さんら会が奉納。

元日祭並びに初祈禱を午前0時からおこなう予定とのことです。

六所神社は、鳥海・月山・羽黒などの6主祭神を祭ることから呼ばれたもので、江戸の最盛期には、藤島川流域の71ヶ村の総社である。



10代藩主酒井忠器（ただたか）筆の社額



ライトアップされた2015年元旦の六所神社境内

り、酒井藩祈願所で10代藩主酒井忠器（ただたか）筆の社額が拝殿に掲げられています。

### 例大祭を祝日に検討

六所神社では例大祭（大祭式例祭）を4月20日におこなってきましたが、子どもたちが参加しやすいように平成28年から祝日の4月29日（昭和の日）に変更することを検討しています。

### 書き残しておきたいこと 私の戦争末期の海軍体験記⑤

加藤倉多（86歳・宝徳）

舞鶴防備隊にいた時、軍港ですので色々施設の陸海軍の部隊があるので飛行機による空襲爆撃がありました。B29爆撃機が単独で高々度の襲来が夜昼飛来し、偵察飛行だと思えます。

夜間は地上何力所からも探照灯で照らし、位置を把握し高射砲を撃つても8千メートルで炸裂してしまうので、1万メートル以上を飛んでいるので悠々と飛び去っていきました。当時日本には1万メートル以上を飛べる飛行機は無かったと思えます。

## 私の昭和

12

鈴木重雄（88歳・八色木）

6年生担任鈴木文雄先生（東村山寺津村）天童市

山形師範学校（山形教育学部）卒の新任教師であった。中肉中背温厚、いつも物思いにふけっているような感じの先生であった。当時満20歳になると徴兵検査が国民の義務である。卒業後2ヶ月間入隊し兵役訓練を受けるのだが終わっていないので、2学期末頃から入隊しそのまま帰ってこなかった。代りに小野保太郎校長（狩川）が受け持ってくれたが先生の印象がない。

渡部英一君のこと  
1学期に入ると渡部英一君が転校してきた。

お父さんが海軍航空兵で日中戦争に参戦し海上空で戦死されたので、舞鶴から郷里に引っ越しされた。美少年で頭もよく私たちの憧れであった。6年生卒業後、難関を突破し予科練（海軍飛行予科練習生）に合格した。濃混色の詰襟七ツボタンの制服に短剣を腰に下げていた。恰好がよかった。彼は戦後山形大学を卒業し教職に就いたが不慮の事故で若い命を絶っている。お父さんは海軍特務少尉（特勲一階級進級）で日中戦争で八采島村第1号の戦死者であったので村葬が行われ生徒も参列した。

家庭的で楽でした。

8月6日新潟市に20

数機の空襲爆撃を受け応戦の様様を見ましたが、機銃の応戦で米国の1機に命中してキリモミしながら海に落下するのを見ました。

その後で聞いた話ですが、原子爆弾の3発目を18日に新潟へ落とすと予告ビラを撒いて行ったとのことでした。幸い15日終戦になりましたが、もつと長引けば私の今の命はなかったわけで、運が良かったと思っております。

8月27日、舞鶴防備隊に帰る。

9月1日、みんながそれぞれ一階級上がり、私は海軍水兵長になりました。（2面につづく）



しんぶん 赤 旗

文化の話題

水木しげるの戦争漫画と妖怪漫画  
戦死した兵士の無念 妖怪に重ね描く



戦死した兵士の無念 妖怪に重ね描く

水木しげるの戦争漫画と妖怪漫画

戦死した兵士の無念 妖怪に重ね描く

しんぶん赤旗 2015年12月18日付け

11月30日、漫画家・水木しげるさんが93歳で亡くなった。漫画はほとんど読まないのですが、この作品名を知りたくて、2010年の朝ドラ『ゲゲゲの女房』で少し知ったという程度である。10代から20代前半に戦争を体験した人々が次々に亡くなっていくが、この世代が書いたり描いたりした作品に戦争が心底に沁み込んでいる。漫画家ははやなせたかし、手塚

治虫らがあり反戦思想を持つている。アンパンマンのやなせは「正義の戦いそのものが存在しない」、鉄腕アトムの手塚は「断じて殺さなくても翻さない主義がある。戦争はごめんだということだ」と言う。

しんぶん赤旗18日付に、漫画評論家・石子順さんが追悼を書いてある。水木さんはラバウルの戦いで多くの仲間が死ぬ中で奇跡的に助かった。彼は「私はその人達の魂に代って

その人達のことを語り伝えたい」と『総員玉砕せよ!』などの実体験戦争漫画の集大成を試みた。死んでいった彼らが見えるから妖怪も見えるのだから。生命を持たない妖怪を通して、平和な現実を見て風刺し、争いのない世界をという願いをこめて、と書き水木さんの体に刻まれた「戦争はだめだ」という主張を広げたいと結んでいる。

▲今年はずし柿がよろしくないと。これは我が家だけかと思っていたんだが、どうも同じような話だった。乾燥が進んでだんだん固くなるんだが、今年はそのれが一向に進まないのだ。そしたらニユースに出た。有名な上ノ山の柿は屋内で暖房をかけているとのこと。値段はどうなるのか、味もどうなるものやら。気候がおかしいのだ。

▲そしてあの強風の中の火事だ。よくあそこで止められたもんだ。ノーという話。遠く離れた神社の近くまで火の粉が飛んできて屋根の火を消したとか、ホースで付近に飛んできたのを何人かで防いだという話もあるが。道路1本超えれば酒田大火のようになったのではないだろうか。どこでも消防団を讃える話が出る忘年会だった。

(石川)

干し柿のカビ対処法：噴霧器で焼酎を1個1個に滴が落ちるくらい吹き付けると2、3日でカビは消滅（しんぶん赤旗12月22日付け11面）

（1面からつづく）

戦後整理で5〜60人もの浮いた死体を丸太のようにロープで縛り、湾内に入ってくる船を2〜3回見ました。

9月10日、復員。軍隊は運隊とも言われ、色々運の善し悪しがあったようです。

黒川の同級の友・上野保君は18年中学校卒業後、8月電信兵として久里浜、横須賀海軍通信学校（68期）に入校し8ヶ月で卒業後、千島に行つたそうです。そこに私と同期の門脇藤雄君（48分隊2班）が行き一緒に生活したのですが、6月初め頃内地に返されたそうです。

終戦間際にソ連軍が千島に侵攻してきて保君はシベリヤに連行され、極寒の地で4年も働かされて帰ってきたそうです。

門脇君は農家の大事な後継ぎの為に早く帰されたのかと思つたのですが裏目になり、輸送船が港を出ると潜

戦死した兵士の無念を妖怪に重ね描く  
「ゲゲゲの鬼太郎」水木しげるさん

—しんぶん赤旗を読んで 青山崇

※「書き残しておきたいこと」を募集  
『民報藤島』では、読者の皆さんから「書き残しておきたいこと」を募集しています。ぜひ原稿をお寄せください。（携帯090・8929・4221 加藤鉦一まで）

田川食健連が提出していた「TPP交渉に関する」請願が11日の産業建設常任委員会で継続審査となりました。6月議会までは同趣旨の請願が採択されてきましたが、今回の継続審査は、与党系派が安倍政権の「大筋同意」の影響を受けて判断を迷っている現れです。

TPPの基本的な理念は関税撤廃が原則であり、関税率なども発効7年後には見直す条項があり、国会が批准して加入すれば、やがて関税ゼロへ突き進むのは明らかです。

政府のTPP対策に惑わされず、国会批准阻止こそ日本農業の崩壊を防ぐ絶対条件です。



忘年会の話…

ひつじ年はもう4日残すのみになってしまったが、1年の早いことに驚かされてしまいますネエ。ところで皆さんの忘年会は何回ありましたか。俺は3回というところかな。酔えば色々な話になるんだが、そんな中から。

▲職業の選択は自由ですし政党の支持も自由なんです。仕事のなかには国の免許を取らなければならぬ物も多い。例えば建築関係で認定番号を貰うときなど、自民党に入るように言われるものがある。国家試験で資格を貰う場合にもそれは進められるという話だ。

▲自衛隊は2年が義務で希望すれば何年もいられるが、辞めると予備自衛官と言うことになり、58歳までは1年1回射撃をさせられるものだという。専守防

水艦に魚雷で攻撃され戦死したと聞かされた。門脇君は、斉村の我老林の出身で義務教育が終わった2ヶ月後海軍に行き、娑婆生活の経験もなく戦死してしまつたのです。

私は、6人兄弟の末っ子でこのうとうと帰つて来たので、後継ぎ息子の門脇君の墓参りは親の悲しみ、悔しさが思われて行かれました。

保君に話したら保君も同じで行かなかつたそうです。

戦争はもう御免です。（おわり）

その人達のことを語り伝えたい」と『総員玉砕せよ!』などの実体験戦争漫画の集大成を試みた。死んでいった彼らが見えるから妖怪も見えるのだから。生命を持たない妖怪を通して、平和な現実を見て風刺し、争いのない世界をという願いをこめて、と書き水木さんの体に刻まれた「戦争はだめだ」という主張を広げたいと結んでいる。

その人達のことを語り伝えたい」と『総員玉砕せよ!』などの実体験戦争漫画の集大成を試みた。死んでいった彼らが見えるから妖怪も見えるのだから。生命を持たない妖怪を通して、平和な現実を見て風刺し、争いのない世界をという願いをこめて、と書き水木さんの体に刻まれた「戦争はだめだ」という主張を広げたいと結んでいる。